

目 次

		ページ
連盟創立 50 周年にあたって・・・柏市少年野球連盟 会長	吉田 繁男	2
柏市少年野球連盟創立 5 0 周年に寄せて・・・柏市長	太田 和美	4
柏市少年野球連盟創立 5 0 周年を祝して ・柏市議会議員 議長	助川 忠弘	5
50 周年を祝して・・・NPO法人千葉県少年野球連盟 理事長	尾藤 利昭	6
柏市少年野球連盟 5 0 周年を祝して・・・柏市野球連盟 会長	仲尾 正清	7
柏市少年野球連盟創立 5 0 周年に寄せて・・・前衆議院議員	櫻田 義孝	8
ゆかりのプロ野球選手・・・陽はまた昇る	谷沢 健一	9
ゆかりのプロ野球選手・・・ご挨拶	小宮山 悟	10
ゆかりのプロ野球選手・柏市少年野球連盟 5 0 周年を祝して	島田 直也	11
ゆかりのプロ野球選手・柏市少年野球連盟創設 5 0 周年に寄せて	古城 茂幸	12
ゆかりのプロ野球選手・柏市少年野球連盟創立 5 0 周年を祝して	田中 浩康	13
役員紹介・・・柏市連盟、千葉県連盟役員		14
加盟一覧		18
所属チーム紹介・・・第一支部		19
所属チーム紹介・・・第二支部		28
所属チーム紹介・・・第三支部		36
所属チーム紹介・・・K G S		44
登録数・・・年度別チーム・選手登録数		45
グラウンド紹介・・・千葉県、柏市施設		46
栄光の足跡 1・・・柏市大会記録		52
栄光の足跡 2・・・千葉県大会記録		62
栄光の足跡 3・・・全国大会記録（豊上ジュニアーズ）		65
全国大会記録（千葉KGS）		75
グラウンド設備改善・・・柏オークライオンズクラブ支援事業		83
大会賞品改善・・・優勝旗、優勝杯		84
50周年記念行事風景（2024年10月26日/11月23日）		85
各式典委員・・・委員一覧		92
皆様からの広告		93
編集後記・・・出版委員会委員長	阿部 紀彦	118

連盟創立 50 周年にあたって

柏市少年野球連盟
会長 吉田 繁男



柏市少年野球連盟創立 50 周年を迎え、ご挨拶申し上げます。

当連盟は、1975 年（昭和 50 年）9 月に創立されました。初代渡部会長、2 代目鳥居会長、3 代目金丸会長、4 代目大桑会長をはじめとする多くの諸先輩方のご尽力、チーム関係者のご協力、及び地域諸団体の皆様のご理解・ご支援により現在の連盟があるわけであります。50 周年にあたり改めてお礼を申し上げますとともに、皆様と慶びを分かち合いたいと思います。

さて、ここ十数年を振り返ってみますと、

- ・ 2011 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災の際、各チームの選手たちが柏駅街頭で募金活動を行い、約 200 万円集め被災地に送ったこと。その後柏市内のグラウンドが放射能汚染で使用できなくなり、柏シニアのサブグラウンド及び野田市少年野球連盟のグラウンドをお借りして大会を行ったこと。
- ・ 30 年以上続いていた柏市桐生市交流親善試合が、先方の都合により 2015 年で終了したこと。
- ・ 2019 年 12 月に発生した新型コロナウイルスにより、翌年より野球活動・大会等の中止を余儀なくされたこと、また再開後も感染症拡大防止のため最大限配慮を払ったこと。

などが思い起こされます。とりわけ東日本大震災とコロナ禍は歴史に残る社会現象として、当連盟としても長く記憶にとどめておくべき事柄かと思料します。

この間、柏市少年野球連盟の選手たちは、豊上ジュニアーズが高円宮賜杯全日本学童軟式野球大会へ 5 回出場、柏女子選抜 KGS が全日本女子学童軟式野球大会へ 2 回出場と、活躍の場を柏市・千葉県のみならず全国へ広げていることは頼もしい限りです。

しかしながら、少子化の波は当連盟にも確実に押し寄せております。20年前(2004年9月)30チームだったのが、現在(2024年9月)は23チームとなっております。20年間で2割以上減少したことになりますが、今後もこの傾向は続くものと思われま

す。この問題の解決は簡単なことではありません。子供たちが真に楽しいと思うこと、より良い野球環境を提供していくこと、こういうことを愚直に続けていき、ひいては青少年の健全育成を進めていくという気概を忘れないことが要諦かと思ひます。各チームの皆様には現在もチーム運営に心を砕いていただいていることと思ひますが、今後とも少年野球の発展のためにご尽力をお願いする次第です。

最後に柏市少年野球連盟が今後60周年、70周年に向け歩みが続けられますよう、関係者の皆様の一層のご指導ご鞭撻を賜りたく、心よりお願い申し上げます。

柏市少年野球連盟創立50周年に寄せて

柏市長
太田 和美



柏市少年野球連盟が創立50周年を迎えられたことを心からお祝い申し上げます。

貴連盟におかれましては、半世紀の永きにわたり、大会運営や指導者の育成等、柏市の少年野球の振興に御尽力いただき、深く感謝申し上げます。

また、技術的な指導はもとより、子どもたちの健全な心身の育成に御尽力いただいている貴連盟加盟の各チームの関係者の皆様の日頃の御努力に対し、心から敬意を表します。

野球は、国内において人気の高いスポーツのひとつであり、貴連盟及び各チームも一年を通して盛んに活動されていることと思いますが、近年は夏の猛暑や感染症対策等、活動に際して懸念材料の多い世の中となり、指導や大会運営に苦慮されていることかと思えます。

さらには、子どもたちの運動離れが社会的課題となっている現代において、運動の機会の提供のみならず、野球を通して健全育成に寄与されている貴連盟の存在はとても貴重であると感じております。

私自身も小学生時代には、市内の野球チームに所属し、指導者や仲間との関わりの中で、体力及び技術力の向上だけでなく、野球の楽しさ、チームワークの大切さ、挨拶・礼儀など、様々なことを学びました。今後も貴連盟の活動により多くの子どもたちがかけがえのない経験をされていくことを期待しております。

さて、本市は、本年11月に市制施行70周年を迎えます。新スローガン「つづくを、つなぐ。」を掲げ、これからも次世代へ、未来へ、“つづく”まちづくりを進めてまいります。今後とも、柏市政に御理解と御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

結びに、貴連盟の更なる御発展を祈念申し上げ、祝辞といたします。

柏市少年野球連盟創立50周年を祝して

柏市議会議長
助 川 忠 弘



柏市少年野球連盟の創立50周年、誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

また、昭和50年の柏市少年野球連盟の創立以来、歴代の役員の皆様をはじめ、各チームの指導者や関係者の皆様が、野球を通じて柏市の児童の健全育成と健康増進に御尽力いただきましたことに深く感謝申し上げます。

野球は、「守備」と「打撃」という二つの異なる技術を習得することにより、児童の多様な運動能力の向上に効果的なスポーツであると思います。

また、集団活動の中で選手・仲間とのチームワークや挨拶といった礼儀を学ぶ貴重な機会を与えてくれます。

近年、大谷選手をはじめ、メジャーリーグでの日本人選手の活躍は大きな話題になっていますが、一方で少子化やスポーツ、趣味の多様化等の影響により、野球人口は減少傾向にあると仄聞しています。

現在、文部科学省では、少子化が進む中、将来にわたり子供たちがスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保するため、「学校部活動の地域連携・地域移行」の施策を推進しています。

このような動きの中、柏市少年野球連盟並びに地域のスポーツ団体の活動は、益々その重要性が増していくことと思われます。

今後、「学校部活動の地域連携・地域移行」の施策の推進により、青少年のスポーツ活動を巡る環境は大きな転換点を迎えることが予想されますが、今後とも柏市の少年野球の益々の振興に向けて、関係者の皆様の一層のお力添えをお願い申し上げます。

結びになりますが、柏市少年野球連盟の更なる御発展と、皆様方の今後益々の御活躍をお祈り申し上げます。

50 周年を祝して

NPO 法人千葉県少年野球連盟
理事長 尾 藤 利 昭



柏市少年野球連盟創立 50 周年、誠におめでとうございます。
昭和 50 年に連盟創立以来、歴代会長はじめ吉田会長を擁した役員・各
チーム関係者が心をひとつにして団結し、ここまで連盟の成長に寄与さ
れました皆様方のご尽力に敬意を申し上げます。

また、県連盟の種々の大会や行事に多大なるご協力を頂いており、そ
の為に役員及びチーム関係者に多々のご迷惑をおかけいたしますこと、
又連盟の要となる主要なポストに貴重な人材を派遣戴いておりますこと
に対し厚くお礼申し上げます。

さて、少年野球の現状は厳しいものがあります。少子化、スポーツの
多様化や社会環境の変化等々により年々子供達の野球離れが進んでお
り、県連盟の所属選手の減少、チーム数の減少が顕著に表れています。
県連盟としても何が学童野球のネックになっているのかを役員は勿論、
チーム関係者のご意見もお聞きして、チーム環境、指導者育成等々を真
剣に考えてまいる所存でございます。

少年野球活動は、青少年育成の一環として子供たちに野球指導をして
おります。技術指導はもとより、礼節、忍耐、他人に対する思いやり、
ルール、チームワーク等々良識ある大人になる為の大事なことを教える
必要があると思います。近年問題となっている指導者による「パワハ
ラ・暴力」等は、特に気を付けなければならない重要事項と思っております。
私たちが出来ることは、安全な場所で、安心して、楽しく野球が
出来る環境を作ることであり、それが我々大人の最大の責務と思っております。
次代を担う子供達を逞しく、そして思いやりのある人に育成す
るには、行政、地域（連盟）、保護者の三位一体で頑張らなければならない
と思います。

結びとして、柏市少年野球連盟が今後 60 年、70 年と益々ご隆盛・ご
発展されますことを心より御祈念申し上げ祝辞といたします。

柏市少年野球連盟 50周年を祝して

柏市野球連盟 会長 仲尾 正清



柏市少年野球連盟が創立50周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。また、吉田繁男会長はじめ少年野球関係者の皆様が少年野球を通してスポーツの普及・振興に大きく貢献されましたことに深く敬意を表します。

柏市野球連盟といたしましても、子供たちの心と体の健康という観点から、学校・家庭・地域が一体となり、青少年の健全育成のための事業として、中学生による市内大会の開催及び市内高等学校の野球大会を実施しております。中学校大会での大きな課題は、野球部への加入生徒が減少し合同チームでの参加が目立ってきていることです。こうした野球離れを食い止めるべく様々な事業を計画してきましたが、厳しい状況となっております。

しかしながら、昨今では世界に誇る二刀流スーパースター大谷翔平選手のMLBでのMVP受賞や、2023年のWBCでの投打における貢献による日本チームの優勝により、野球熱が徐々に戻り始めています。

柏市野球連盟としても柏市少年野球連盟と連携し、引き続き審判講習会や研修会等を開催しスポーツ振興と発展に尽くしてまいりたいと思います。

結びに50周年という区切りに至り今後も柏市少年野球連盟の更なる発展をご祈念申し上げお祝いのことばといたします。

柏市少年野球連盟創立50周年に寄せて

元東京オリンピック・パラリンピック担当国務大臣
前衆議院議員 櫻田 義孝



柏市少年野球連盟の創立50周年を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。明治時代に米国からもたらされた「ベースボール」は、いまでは日本を代表する「野球」へと定着いたしました。そして、今日ではWBCでの「サムライジャパン」の大活躍、米国メジャーリーグでの日本人選手の活躍など、本家米国と比肩するレベルの水準にまで到達しました。

日本の野球が、このように高いレベルへと進化することができた要因は、全国各地に存在する各種学校の野球部や野球チーム、監督コーチや指導者、地域の皆様の深い理解の存在抜きには語ることができません。

またさらに、青少年の健全育成にとり、野球は最適のスポーツであります。半世紀前、グラウンドで白球を追っていた少年達は、今では指導者・支援者として、後に続く世代を導くようになりました。

柏市少年野球連盟の50年の歩みは、柏市の野球水準の向上だけでなく、地域の皆様の人生の成熟と共にあります。連盟の皆様の地道な活動が、年輪のように積み重なり、柏市の、千葉県の、そして日本国全体の競技力向上に繋がっていることは間違いありません。

今回の柏市少年野球連盟50周年記念は、これからの50年、100年に向けた一道標に過ぎません。今後も多くの市民の皆様が、野球を通じて学び、成長し、次の世代にへと、襷を繋いでいくことでありましょう。次の世代の為、柏市ひいては日本の野球の発展の為、柏市少年野球連盟の皆様が益々ご活躍をされますことを、心より祈念しております。

『陽はまた昇る』

Y B C 柏 総監督
(中日ドラゴンズ)
谷 沢 健 一



柏市少年野球連盟の創立50周年、誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

半世紀、ここまでの道のりは人生山あり谷ありであったことでしょう。

2011年の東日本大震災、2020年の新型コロナウイルス、そして少子化の影響もあり連盟チーム数も低下していると伺っています。このような問題にも対応してきた方々がいたこと、そして日々いろいろな方々に支えられて野球ができていることは、選手の皆さんには決して忘れないでいてほしいです。

『陽はまた昇る』

この言葉を選手の皆さんに贈ります。

私自身もプロ野球選手時代に怪我に悩まされ、負けてたまるかと歯を食いしばった時期がありました。

これからの人生、楽しいことばかりでなく辛く苦しいことに遭遇することがあると思いますが、少年野球で経験したこと、学んだことを糧に乗り越えて頂きたいです。

最後に、柏市少年野球連盟が今後100周年に向けて益々発展されますこと、そして野球人口の増加を心よりご祈念申し上げ祝辞と致します。

ご挨拶

早稲田大学野球部監督
(千葉ロッテマリーンズ、
ニューヨークメッツ等)
小宮山 悟



柏市少年野球連盟設立 50 周年、おめでとうございます。
今年、59 歳となった身としては、小学生の時に連盟が設立されたのかと、改めて感慨深い思いです。最近、チームに入って活動し始めた子や、何年も所属して、それはそれは素晴らしいと褒められている子、色々いると思います。毎日、ボールに触れ練習を続ければ、必ず上手になります。出来なかった事が出来るようになった瞬間…、それこそが、最も大切なことです。その経験を数多く積み重ねる事ができれば、飛び抜けた存在になり、やがてプロ野球選手になる事だって夢ではなくなります。日々の努力を積み重ねていってください。

同時に、父兄の皆様。

ご子息の為とはいえ、日々、ご苦労されていると推察いたします。明るい未来のために、ご子息以上の頑張りを、お願い致します。

柏市少年野球連盟のさらなる発展をお祈り致します。機会がありましたら、是非大会を覗きに行きたいと思います。

柏市少年野球連盟 50 周年を祝して

常総学院野球部
監督 島田直也
(日本ハムファイターズ等)



この度は、柏市少年野球連盟 50 周年、誠におめでとうございます。

私は柏市出身で、小 1 で「高野台ジャガーズ」というチームで野球を始め、夢であったプロ野球選手を目指し、日々練習に励んでいました。夢に向かって仲間と過ごした 6 年間は、今でも忘れられない思い出になっています。

野球は 1 人では成り立たないスポーツです。チームワークが大切ですが、選手だけではなく選手を支える監督、コーチ、スタッフみんなの力で成り立ちます。その中でも、一番の支えとなるのは家族の存在です。

私も「高野台ジャガーズ」で野球を始めた当時は、家族はもちろん、チーム関係者の皆さまに支えられ野球の基礎を築くことができました。今、あらためて振り返ると「感謝」の思いでいっぱいです。

夢を叶える為に努力は必要ですが、「夢は必ず叶う」と私は信じています。そして、「感謝」の気持ちを忘れずに夢に向かって突き進んで下さい。

結びに、今後も柏市少年野球連盟の益々のご発展と、この柏市からプロ野球選手、メジャーリーガーがたくさん輩出する事を祈念し、ご挨拶とさせていただきます。

柏市少年野球連盟創設 50 周年に寄せて

読売ジャイアンツコーチ
古 城 茂 幸

(北海道日本ハムファイターズ、
読売ジャイアンツ)



柏市少年野球連盟の創設 50 周年、誠におめでとうございます。

私が野球を本格的に始めたのは小学校 4 年生の時です。柏市の高田小を拠点とした『柏友ジャニーズ』というチームに所属していました。

毎週土日は朝から晩までチームメイトと野球に明け暮れていたことを懐かしく思い出されます。一番楽しかった時です。

その後も、中学、高校、大学、そしてプロ野球選手としても 16 年間プレーさせて頂きました。

野球を通じて経験できたことや知り合えた方々との縁は今の私の財産となっています。

その原点となっているのが少年野球です。選手の皆さんには野球だけでなく、目の前のことに一生懸命取り組み一生懸命楽しめる、そして周りの方々を大切にする、そのような人間になって頂きたいです。

結びに、柏市少年野球連盟が今後 10 年 20 年と益々ご発展されますことを心よりご祈念申し上げ、祝辞とさせていただきます。

柏市少年野球連盟創立 50 周年を祝して

横浜 DeNA ベイスターズコーチ
(ヤクルトスワローズ、
横浜 DeNA ベイスターズ)
田中 浩 康



©YDB

私が柏市（当時は沼南町）立大津ヶ丘第一小学校に転校（京都から）してきたのは1年生の3学期のことでした。たまたま仲良くなったクラスメートが野球チームに所属しており、一緒に連れて行ってもらったのが「沼南フラワーズ」でした。大津ヶ丘第一小学校を拠点としている「大津ヶ丘ファイターズ」ではなく、大津ヶ丘第二小学校を拠点としている沼南フラワーズに加入したのはただそれだけの理由です。千葉県大会出場をかけて毎年のようにフラワーズ VS ファイターズで決勝戦を戦ったことは今でも鮮明に覚えています。

プロ野球選手になってからは、野球振興活動として少年野球大会の開催や柏市とのネーミングライツ事業（田中浩康スタジアム）に取り組みました。1人でも多くの野球少年・少女に、何か少しでも影響を与えることができたのであれば幸いなことです。

柏市少年野球連盟は、私を含めて多くの方々に、野球を通して仲間や恩師との出会いや成長のきっかけを与えてくださいました。50周年を記念して心より感謝申し上げます。